

8月13日(月)発行

昨日の感動を
お届けします!!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



バーンスタインの音楽の楽しさを満喫!



©青柳聡

【8/12(日)東京交響楽団フィナーレコンサート】

フェスタサマーミュージックのフィナーレコンサートに秋山和慶&東響が登場。「祝バーンスタイン生誕100年」のタイトルでアメリカ音楽プログラムが組まれた。

前半はジョン・ウィリアムズの2曲。最初に「オリムピック・ファンファーレ」が秋山の明確な指揮のもと、クリアに演奏された。「チューバ協奏曲」といえば、ヴォーン・ウィリアムズのものがあるが、ジョン・ウィリアムズも書いている。独奏はミュージック・ソリスト・オーディション2016合格者の田村優

弥。ソリストとして十分に東響と渡り合ったが、もう少し精度の高い演奏が望まれた。まだまだ成長していくに違いない逸材だけに今後に期待したい。

後半はバーンスタイン・プログラム。まずは「キャンディード」から、序曲、3つのナンバー、組曲。序曲は軽快なテンポでの引き締まった演奏。続いて、幸田浩子、中川晃教が登場。幸田がマイクに少し戸惑っているようだったが、中川はさすがにマイクの使い方がうまい。ハーモン編曲の組曲では、チェロの西谷牧人やイングリッシュホルンの最上峰行のソロが

印象に残る。組曲ラストの「僕らの庭を耕そう」での歌うヴァイオリンが感動的。最後は「ディヴェルティメント」。ユーモアを含んだバーンスタイン作品を東響が楽しんで演奏。アンコールで再び幸田と中川が登場し、「トゥナイト」を歌う。マイクを使いながらも声とオーケストラがよく溶け合う。バーンスタインの音楽の楽しさを満喫し、今年のフェスタが幕を閉じた。

なお、バーンスタインの100回目の誕生日は8月25日(来週土曜日)です!!

(山田治生・音楽評論家)

来場者の声

「キャンディード」の素晴らしい曲をオーケストラとゲスト歌手で聴くことができ最高でした。音楽は奏でる方々も観客も、どちらも楽しむものですね。演奏されているオケの皆様、歌手の方々、なんて素敵な表情されて曲をつくりあげておられることか!聞かせて頂いているこちらまで幸せな気分になってきます。本当に有り難うございました。(久美子・30代) / 公開リハーサルが楽しかったです。リハーサルから演奏会が終わるまで最初から最後まで楽しませていただきました。歌手の方も出演してとても素敵な響きを楽しめました。キャンディードを満喫

できて良かったです!(クラリネットにやんこ・10代) / 幸田さんと中川さんの歌はミュージカルを観ているようでした。アンコールは夢心地になりました。今年も幸せな数日間でした。来年もまた絶対にサマーミュージックにきます。(ミユキ・40代) / 楽しかったです!相変わらず秋山先生の指揮は美しく自在で楽しい!チューバ協奏曲、よくあれだけ吹けるものだと驚き、こんなにいろいろな音が出るのかと感動した。アンコール、トゥナイト!やると信じてました!サイコー!(しろちび) / ほぼ中川さん目当てで来ましたが、やっぱりオケはかっこいい!生は楽しい!!キャンディードやJ.ウィリアムズさんのもの良かったけど、最後の小曲をつなげてディ

ヴェルティメント。それぞれの楽器の音や様々なタイプの音楽が聴けて興味深かったです。(匿名) / 今まで知らなかったことを後悔しています。リハーサルも聞けるなんてサイコーでした。(sonata・50代) / アメリカ音楽には今を生きる人の力強さと自由がある。今日はリハーサルから見せてもらい秋山マエストロが方向性一つにしてどう伝えるか確認しておられる様子を垣間見れたので本番もストンと入れた。とても充実した楽しい時間を過ごせました。(パパ・50代) / 12枚のチケットが残り1枚、思い切り楽しめました。立派な音楽ホールが近くにある有難さを実感!建設に尽力された方々に感謝の気持ちでいっぱいです。(多幸・70代)

ミュージック公式インスタもフォローしてね!

Instagram

ミュージック川崎シンフォニーホール
富士マリ子の休日
(東京交響楽団/首席ファゴット奏者)

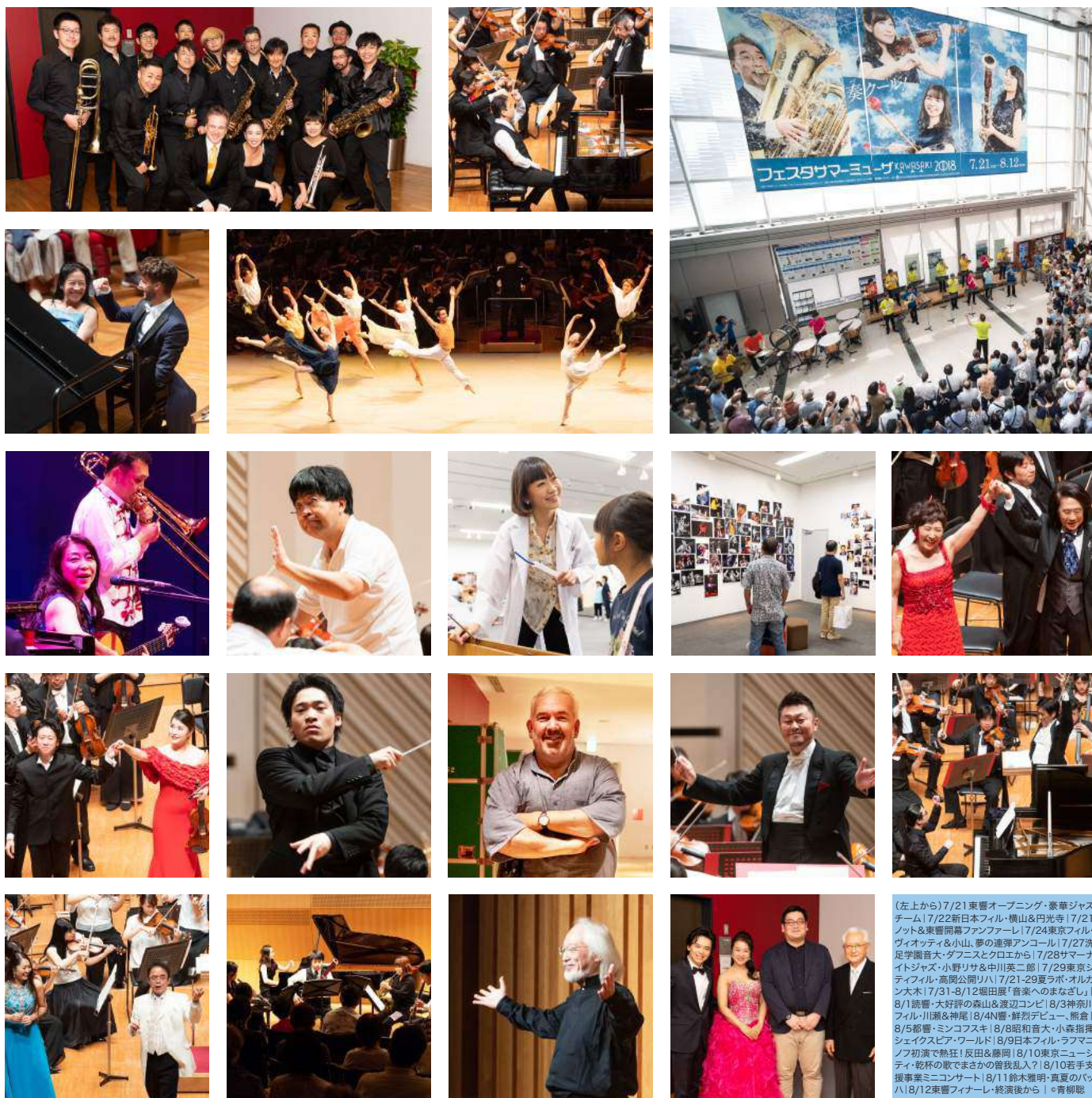
♡〇▽
富士マリ子 写真は仲良しの姉と、金沢で。姉は時給給として今は石川県の輪島に住んでいます。お互いに忙しく中々会うことは出来ませんが、音楽とは違う道へ進んだ姉とは、昔よりもリラックスして何でも話せる仲。ホッと楽しく過ごせる姉妹の時間は、あっという間に過ぎてしまいます。
#東京交響楽団 #金沢 #時給給 #姉妹 #ミュージック公式インスタ運動中

【平成30年7月豪雨災害義援金】

サマーミュージック期間中に会場に募金箱を設置した「平成30年7月豪雨災害義援金」には、総額154,156円の寄付をいただきました。この義援金は日本赤十字社を通じて寄付いたします。ご協力ありがとうございました。

「奏クール！」な夏、大盛況のうちに終了

総来場者数、延べ3万3千人！
ありがとうございました。



(左上から)7/21 東響オープニング・豪華ジャズチーム | 7/22 新日本フィル・横山&円光寺 | 7/21 ネット&東響開場アップアール | 7/24 東京フィル・グレイブ&小山 | 夏の連弾アンコール | 7/27 洗足学園長大・ダラスとクロエから | 7/28 サマーナイトジャズ・小野リサ&中川英二郎 | 7/29 東京シティフィル・高梨公博 | 7/21-29 夏へのまなざし | 8/1 装響・大好評の森山&森辺コビ | 8/3 神奈川フィル・川瀬&神尾 | 8/4 響・鮮烈デビュー・熊倉 | 8/5 都響・ミンコフスキ | 8/8 昭和音大・小森指揮・シェイクスピア・ワールド | 8/9 日本フィル・ラフマニノフ初演で熱狂！反田&藤岡 | 8/10 東京ニューシティ・乾杯の歌でまさかの管我乱入？ | 8/10 若手支援事業ミニコンサート | 8/11 鈴木雅明・真夏のパッパ | 8/12 東響フィナーレ・終演後から | ©青柳聡

サマーミュージック公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



#サマーミュージックで投稿してください！



Twitter : @summer_muza



Facebook : @kawasaki.sym.hall



Instagram : @muzakawasaki

昨日の感動をお届けします!!
日刊サマーミュージック
 Hobo Nikkan Summer Muza

今年も暑い夏が終わりました！
 記録的な猛暑にダブル台風など
 厳しい天候もありましたが、無事
 23日間を終了。ご来場の皆様、あ
 りがとございました。

サマーミュージックの名物企画「ほぼ日」も今号が
 最終号です。この制作は家内制手工業で、ミュー
 ザスタッフが日々の業務の合間をぬってグルメリ
 ポートや記事を書き、編集・校正・印刷も社内で行
 なっています。毎朝、迫りくる開場時間と戦いなが
 らレイアウトし、連日の酷使に音を上げる(紙が詰
 まる)印刷機を宥めずかっせつ汗を流す日々。刷り
 上げればスタッフ総出で挟み込み作業(ミュージック
 は全員野球です!)。それでも「あれ面白いよね」
 の声や、特設ラックから何号も持って帰られる皆様
 の姿を励みに、毎日せつせつと作っています。

また、人気コーナーの一つが「来場者の声」。ダイ
 レクトな感動が伝わる直球胸熱レビューや、ユー
 モア溢れる感想の数々、熟練レビューワーカーの思わ
 ぬる技巧的力作など、読み応え十分。各々のスタ
 イルで大いにエンジョイしている様子を私たちがも
 嬉しくなります。そして公演レビュー執筆陣やカ
 メラマンにも心からの感謝を。今年には出演者のご
 協力を得て「アーティストの休日」というインスタ
 運動企画もありました。お楽しみいただけただけなら
 幸いです。皆様の力が結集した「ほぼ日」、バックナ
 ンバーはホール入ロラック(8/25迄)、または
 ホームページでご覧いただけます。それではまた来
 夏、お会いしましょう。(「ほぼ日」編集長2年目)

スタ
ツ
フ
日
誌